

KAIHOU

会報、快報、回報、ニュース

東京工芸大学同窓会 関西支部 会報

平成27年度号 平成27年10月発行

東京工芸大学同窓会 関西支部

支部長ご挨拶 東京工芸大学同窓会関西支部 支部長 駕田 毅	1
来賓ご挨拶 東京工芸大学同窓会 副会長 大澤 登	2
平成27年 支部総会	4
講演 東京工芸大学芸術学部長 教授 吉野 弘 章	8
平成26年度会計報告・平成27年度予算案	12
議案審議	12
平成27年 懇親会	13
平成27年 総会出席者	16
総会返信ハガキ通信欄よりの「メッセージ」	17
会費納入のお願い	21
役員氏名一覧	22
関西支部事務局・各地区連絡先	23

関西支部支部長 42期 駕田 毅



こんにちは。

同窓会の支部会を開催するに当たりまして、色々役員の方にはお世話になりました。私共の会社の方も62周年の記念式典をすませて参りました。

今日は東京工芸大学同窓会副会長の大澤 登先生と春に東京工芸大学芸術学部長になられました吉野先生をお迎えして、この会を催すことになりました。また、後ほどお二人から大澤さんからはご挨拶、そして吉野先生からは講演をお願いしておりますので楽しみにしていただきたいと思います。

では、宜しく願いいたします。

平成27年 支部総会

東京工芸大学同窓会関西支部 総会 平成27年6月 於 アークホテル



平成27年 支部総会

平成27年6月27日(土)、関西支部恒例の総会を大阪長堀橋にあります「アークホテル」にて開催し、近畿各地から同窓生が参加しました。

来賓として、東京工芸大学同窓会本部 大澤 登副会長、また吉野弘章 東京工芸大学芸術学部長のご出席を頂きました。

38期滝口氏の司会進行で、まず亡くなられました29期山口譲一氏に黙祷を捧げ、各役員、各地区の活動報告、会計報告、予算案などが審議されました。

来賓講演にて、吉野弘章教授より「現代社会における写真の位置」のお話を頂き、また大澤副会長より同窓会事務局の近況などのお話を頂きました。

記念撮影の後、懇親会に移り工-16期小林修一氏の司会、29期渡辺 清氏の乾杯に始まり、時間の経つのも忘れ現役に戻ったように話も弾み大いに盛り上がり、工-4期俣野恒雄氏の中締めで来年の再会を約して散会となりました。



支部長 42期 駕田 毅 氏



司会 38期 滝口 雅之 氏



広報 工16期 小林 修一 氏



京都地区 39期 安岡 賢治 氏



滋賀地区 47期 大西 繁 氏



大阪地区 39期 山本 哲 氏



兵庫地区 36期 西尾 祐一 氏



双美会 工2期 内田 英男 氏



会計報告 40期 倉橋 正直 氏



「現代社会における写真の位置」

東京工芸大学 芸術学部長 吉野弘章



はじめに

こんにちは。本年4月より芸術学部長に就任いたしました写真学科教授の吉野と申します。よろしくお願いたします。本日は、大学の近況についてのご報告と、現代社会における写真の位置などについてお話しさせていただきます。

自己紹介

私は、1985年に本学短期大学部写真技術科を卒業した後、写真専門ギャラリーにて写真展の企画や運営、美術作品のディーリングなどの仕事に携わる傍ら、2002年に本学大学院芸術学研究科を修了しました。大学院での研究成果により、2003年に日本写真協会賞と日本写真芸術学会賞を受賞したことを一つのきっかけとして、前任校である京都造形芸術大学芸術学部情報デザイン学科に教員として着任し、京都で5年間教鞭を執りました。その後、ご縁あって2009年に本学写真学科へ移籍し、現在に至っています。また以前の仕事の経験を活かして、昨年度より写大ギャラリー運営委員長として、国内有数の写真コレクションを誇る写大ギャラリーの展示企画を担当させていただいています。

本学の近況について

さて、皆様ご存知のとおり、本学は1923年に我が国で最初の写真専門の高等教育機関として創立され、すでに90年以上の歴史と伝統を誇っています。当時最先端の「芸術」であり「技術」であった「写真」の教育と研究から発展したことで、現在では、芸術学部と工学部という両極的な二つの学部を擁する特色のある大学となっています。

現在、芸術学部では、写真、映像、デザイン、インタラクティブメディア、アニメーション、ゲーム、マンガという7つの学科を配しておりますが、これら7つの学科構成が示すとおり、本学の芸術学部は、絵画や彫刻などの伝統的な「美術」ではなく、芸術と技術を融合させた「メディア・アート」の教育研究に特化している点が他の美術系大学にはない特徴です。メディア・アートとは、社会の中で広く活用されるアートと言う

ことができると思いますが、そのルーツは言うまでもなく写真であり、そのような意味では、本学は創立以来、常に最先端のメディア・アート一筋に教育研究を続けてきた教育機関と言えるでしょう。

芸術学部では、昨年度までに全面的に刷新された中野キャンパスを拠点として、次世代の文化産業を担う人材の育成に努めておりますが、我が国で最も伝統のある写真教育については、近年とりわけ著しい成果を上げていると言えます。

日本において、文化の向上発達に関し特に功績の著しい人物として文部科学大臣が選出する「文化功労者」において、これまでに写真家として選出された4人のうち3人（渡辺義雄、田沼武能、細江英公）までが本学出身者であるということは誇るべきことですが、近年においても、写真界の芥川賞と言われる木村伊兵衛写真賞において、2006年（本城直季）、2007年（岡田 敦）、2009年（高木こずえ）と、立て続けに受賞者を輩出しています。また、新人作家の登竜門と言われるリクルート主催の「写真1wall展」において、昨年度には現役4年生（吉田志穂）がグランプリを獲得した他、学外の数々の公募展において、在学生や写真学科を卒業して間もない卒業生が続々と優秀な成績を収めており、近年、最も高い教育成果を上げている写真の大学として知られています。

今後も文化産業界で活躍し、広く社会に評価される人材の輩出を実現するため、常に時代と社会の変化に迅速に対応した教育システムの充実と展開を図っていく所存です。

現代社会における写真の位置

さて、19世紀初頭に発明された写真術は、近年、急速にデジタル化され、ネットワーク上を行き来するようになったことで、社会の中での役割や在り方を大きく変容させました。本日は、現代社会における写真の位置や状況などについて、お話しさせていただきたいと思います。

皆様よくご存知のとおり、1839年にフランス学士院においてルイ・ジャック・マンデ・ダゲールが発明したダゲレオタイプが公表されたことにより、写真は世界に広まりました。20世紀に入る頃、イーストマン・コダック社の創設者であるジョージ・イーストマンは、ロールフィルムを使用した新しい写真システムによって市場を開拓し、一気に写真を一般大衆へと普及させました。そして21世紀になってデジタルカメラが普及し、さらに携帯電話やスマートフォンによって、誰もが日常的に簡単に大量の写真を撮影するようになりました。

インターネットと写真

ダゲレオタイプやカラースライドなど一部のものをのぞいて、20世紀までの写真と言



えば、印画紙に焼き付けられたものか、新聞、雑誌、ポスターなどの印刷されたものなど、紙媒体のものが主流でした。つまり写真を見ようと思えば、印画紙や印刷物など、紙にプリントされたものを入手する必要がありました。そして、その紙上の写真には、撮影料や著作権料など、写真そのものの使用にかかる費用の他に、紙代や印刷費、運搬費など、写真の画像がプリントされた紙媒体に対する様々なコストを支払う必要がありました。

映画スターやアイドルの写真为例として挙げれば、一昔前は、好きなアイドルやスターのプロマイド写真や写真集を、お金を出して買って見ていました。今はインターネットで画像検索すれば、好きなスターやアイドルの写真を無料で見ることができます。法律的にどうかということとはともかく、自分のスマートフォンやパソコンにダウンロードしておけば、いつでも簡単に写真を見ることができます。つまり、写真は画像情報として紙媒体から自由になり、インターネット上を行き交うようになったことで、紙媒体へのコストを支払う必要がなくなったのです。

ネットワーク時代の報道

以前は、戦争や事件現場などで撮影された写真もフィルムで撮影されていました。そのフィルムが現像されてプリントとして焼き付けられ、さらに新聞や雑誌などに印刷されて人々の手に渡るまでには、多くの物理的な時間とコストが必要でした。現在では、世界中の多くの人々がスマートフォンなどの写真や動画が撮影できてインターネットにつながっている情報端末を持っていますので、何か事件や事故の起こった場合に、通信社や新聞社がプロの写真家を現場へ派遣し、撮影した写真を通信社や新聞社が世界へ発信するという従来の報道写真の行程を介する必要がなくなり、たまたま現場に居合わせた一般の人が撮影した写真や映像が、即時にインターネットを通じて世界に発信されるような状況となりました。つまりそこでは、「報道」における従来のビジネスモデルが成り立たなくなりつつあるのです。



デジタルの改変性

写真はデジタル化され、Photoshopなどの画像編集ソフトで簡単に修正できるようになりました。広告などで使用されて日常的に私たちが目にする写真のほとんどは、何らかの修正が施されているといっても過言ではないでしょう。デジタルによる修正や加工によって、撮影された被写体が本来の姿から大きく改変されている場合も多くあります。一方で、被写体を実際に肉眼で見た時の印象に近寄せるために修正や加工されている場合もあるでしょう。そして、デジタル写真によって可能になった修正や加工を積極的に取り入れたアート作品なども多くあります。

美術品としての写真

写真がデジタル化され、画像情報としてインターネット上では大量に無料で行き来するようになった一方で、写真は美術品としても高く評価されるようになりました。絵画や彫刻などと同じように、美術館などで展示・収集されるようになり、美術品の市場でも売買されるようになりました。近年では、美術品オークションにおいて、1点数億円という価格で取引されるような高価な写真作品も登場しています。

まとめに

19世紀に登場した写真は、長い間、主に紙媒体（＝プリント、印刷物）として使用されてきました。しかし21世紀に入って、写真はデジタル化され、インターネットと結びついたことにより、紙媒体から自由になり、画像（＝データ）として、より手軽にスピーディーに活用されるようになりました。また、アートとしての価値が評価され、美術品（＝物質）として取引される写真も登場しました。そのような意味で、現代における写真は、紙からデータ、そして紙から物質へと、メディアとしての社会における存在意義を急速に拡張してきたと言えるでしょう。

最後になりましたが、東京工芸大学同窓会関西支部のますますのご発展と皆様方のご健勝とご活躍を心よりご祈念いたします。



平成26年度会計報告

H26.6.1～H27.5.31

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越金	464,544	通信費	60,649
支部費	126,000	総会会場費	205,640
総会費	240,000	交際費	34,588
寄贈	21,000	会議費	22,800
利息	98	雑費	29,490
		交通費	52,320
		次年度繰越費	446,155
合計	851,642	合計	851,642

平成27年6月10日

会計 倉橋正直



監査 滝口雅之



平成27年度予算案

収入の部		支出の部	
繰越金	446,155	通信費	70,000
支部費	150,000	交際費	50,000
		会議費	50,000
		雑費	30,000

会計 倉橋正直

議案審議

1. 26年度会計報告と監査報告（上記の通り）
2. 27年度活動計画の概要
 - （1）支部会員に27年度総会等の報告書を作成し送付する。
 - （2）「新年懇親会」を諸般の事情により中止する。
 - （3）次年度総会を平成28年6月開催の予定。
 - （4）定例役員会1回開催。（28年3月）
3. 27年度 収支予算案（上記の通り）



司会 工-16期 小林 修一 氏



乾杯 29期 渡辺 清 氏



中締 工-4期 俣野 恒雄 氏



乾杯風景



平成27年 総会出席者 (25名)

来賓 東京工芸大学同窓会副会長 大澤 登様
東京工芸大学芸術学部長 吉野弘章様

(滋賀県) (1名)

大西 繁 (47期)

(京都府) (2名)

山本吉男 (24期) 安岡賢治 (39期)

(大阪府) (12名)

荒木祥夫 (33期) 南 博 (33期) 増本安雄 (34期) 山本 哲 (39期)

滝口雅之 (38期) 倉橋正直 (40期) 北村知二 (40期) 駕田 毅 (42期)

内田英男 (工-2期) 俣野恒雄 (工-4期) 石岡博文 (工-8期) 三橋浩二 (工-27期)

(兵庫県) (6名)

福岡武雄 (30期) 松本一馬 (30期) 森澤嘉昭 (31期) 西尾祐一 (36期)

金居光由 (54期) 小林修一 (工-16期)

(奈良県) (2名)

渡辺 清 (29期) 安川洋平 (30期)

物故者 (平成26年6月～平成27年7月) ご冥福をお祈りします。

29期 山口 譲一氏 御逝去

東日本大震災によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます
とともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

総会返信ハガキ通信欄よりの「メッセージ」

来 賓

30期 大澤 登 本部より、大澤副会長にご出席頂きます。よろしくお祈り致します。
事務局 立川宏司

60期 吉野弘章 この度は大変お世話になります。講演の題目は「現代社会における写真の位置」とさせていただきたいと思っております。PCを持参しますので、プロジェクターをご準備くださいますようお願いいたします。どうぞよろしくお祈りいたします。

滋賀地区

34期 山田善章 いつも大変お世話になり感謝致しております。歳と共に体力の衰えが目立つ今日此の頃です。既に歯は総入れ歯、難聴に腰痛全く困ったものです。

38期 古家幸 申し訳ございません。今回も出席できません。皆様にはよろしくお伝え下さい。

39期 松江邦男 案内ありがとうございます。都合つかず出席できません。皆様に宜しくお伝え下さいませ。

46期 押田明雄 残念ですが、欠席します。

47期 大西 繁 滋賀はいつも参加者が少ないのが悩みです。せめて、返信ハガキだけでも出してもらえると世話役としてはうれしいです。

工-10期 鶴谷佐憲 出張の為、総会に参加出来ず残念です。相変わらず、元気に仕事しております。

工-12期 伊東正邦 最近では総会に出席することができず申し訳ありません。また、機会のある時に皆様にお会い出来ること楽しみにしております。皆様のご健康とご活躍を願って！

京都地区

24期 山本吉男 米寿を迎えましたが年の割には達者で生活しています。元気な間は出席させていただきたいと願っています。盛会を祈ります。

33期 梅原敏生 総会の案内、有難うございます。案内を頂くことで元気を頂いています。足や手が痛くて困っています。元気なのは髪の毛と、親譲りの歯が全部頑張ってくれていることです。

35期 外村陽二 関西の伝統行事、祭を撮影しています。

40期 北村隆夫 残念ながら今回は出席出来ません。来年は参加出来ればと思っています。

41期 井原裕三 ここ数日は真夏の様な京都です。毎回ごていねいなご連絡を頂きましてありがとうございます。この度も欠席となりますが、申し訳ございません。

41期 宮本利夫 よろしくお祈り致します。

53期 山本孝弘 多忙にて欠席申し訳ありません。

総会返信ハガキ通信欄よりの「メッセージ」

工-20期 八田 耕 治 幹事様、いつもお世話になります。今年も参加できませんが、皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。

大阪地区

30期 各 務 正 彦 何年間も不参加で失礼しております。又会費も未納になっておりますので、振込み用紙お願いします。返信が遅れましたこと重々お詫びします。

30期 貝 塚 裕 仕事としての写真制作は体力的にも無理になり、現在は趣味として楽しく「デジタルの美」を追い求めています。

31期 上 林 朗 男 皆様によろしく!!

33期 荒 木 祥 夫 いつもお世話いただき有難うございます。

33期 牛 山 廣 己 役員の皆様ご苦勞様です。明日手術ですので出掛けられません。飲食に制限がありますので、出席しても水を飲むくらいです。

33期 南 博 役員の皆さんお世話さまです。私はあい変わらず太極拳の指導に明け暮れており、薬やサプリメント等、何も飲まずに、元気です。一年に一回皆様にお会いするのが楽しみです。

36期 嶋 田 昌 昭 永年に渡り連絡を頂きましてありがとうございました。当方後期高齢になり足も弱り、出かけるのが不自由になって来ました。今後ハガキ代ももったいない事ですし、連絡辞退させていただきます。会の発展をお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。

38期 本 城 丈 夫 仕事の為、欠席します。

39期 今 野 礼 三 ご案内、ありがとうございます。

40期 北 村 知 二 なんとか、生きてます。

40期 菱 川 典 郎 先日北海道の美瑛に行きまして同級生の写真館を訪ねました。まだまだ現役。But娘さんが同大を出られて跡つぎが出来たと安心しておられました。たのもしい限りです。同日、会社のOB会と重なりまして申し訳有りませんが、欠席致します。会の盛會を祈ります。

40期 倉 橋 正 直 6月に土屋下宿の会を大阪で行いました。山形、岡山、静岡、京都、長野、大阪で8名集まりました。昔話に花が咲き、楽しい1泊2日をすごしました。

41期 恵 川 邦 雄 毎年参加させていただいておりましたが、今回は欠席させていただきます。この5月に前立腺の手術をし、今は元気にしておりますが、体調を整えたいと思います！今後の予定も又お知らせ下さい。

42期 木 地 憲 司 いつも申し訳有りませんが、仕事なので欠席します。多数の出席願っています。

42期 豊 田 光 恵 いまだ現役で、毎日パソコンに向かっております。休みをギリギリまで申請しておりましたが、どうしても休みが取れず、残念ですが欠席させていただきます。皆様に宜しくお伝え下さいませ。

43期 二見むつみ お世話になり、有難うございます。残念ですが、仕事があり、欠席します。

43期 和 田 潤 司 まだ67才、元気です。

工-2期 内 田 英 男 皆様とお会い出来る事を楽しみにしております。

工-2期 沖 岩 男 都合により、欠席します。妻が亡き後も元気に頑張っています。御盛會をお祈りします。

工-3期 野 志 敏 郎 卒業後早や45年、なつかしい限りですが、今年、来年ぐらいが両親の介護、その他に忙しいピークですので欠席させていただきます。尚、「双美会」だけは、それでもなるべく出席したいと思っています。皆様によろしく御願ひ申し上げます。

工-4期 俣 野 恒 雄 久しぶりの参加です。よろしくお願い致します。

工-5期 川 畑 和 夫 連絡ありがとうございます。定年退職→再雇用→再就職と無事勤め上げ、現在はアルバイト（再就職先）週1～2回のペースで行っています。幸い健康に恵まれ、暇をみては山歩きをしています。盛會を祈ります。

工-8期 石 岡 博 文 還暦を迎える事が出来ました。気概は変わりませんが、身体の免疫力が落ちてきた様です。先日、85才の方とゴルフプレーをしましたが、私が85才となった時、ゴルフ続けていられるかなと思いました。

工-9期 友 永 芳 男 いつも出席出来ず残念です。ご盛會をお祈り申し上げます。

兵庫地区

27期 杉 本 卓 也 役員の皆様大変お世話をおかけしている事に感謝致しております。最近私方高齢の為、行動の自由が利きにくくなりましたので、残念ながら欠席させていただきます。

30期 福 岡 武 雄 お陰様で感謝・感謝の日々です。ライフワークとは大げさですが、陶芸や木彫、そして秋の開花が楽しみで今年も菊作りに追われるこの頃です。還暦を機に小旅行も加わり、元気に暮らしています。

30期 松 本 一 馬 毎年乍ら、駕田会長始め、皆々様、西尾地区長にも、お手数をおかけして有難うございます。小生も、この6月3日で満81歳になりました。皆々様のお力添えによりまして、毎日勤め半分、楽しみ半分の生活をエンジョイしております。仕方のない事ですが、大学の先生方共、縁が薄れてきましたので、当総会でお会いし、お話を聞くのが楽しみです。秋には工業科を中心としたメンバーが彦根で集うので、同期の福岡、貝塚兄が準備に追われています。(30期)。

31期 工 藤 真 体調が今一つで残念ですが、欠席させていただきます。皆様によろしくお伝え下さい。

31期 森 沢 嘉 昭 当日、札幌出張中の為、16:00頃からの出席に成ります。

34期 井 上 陸 平 健康上の理由により以後の連絡遠慮致したく、此処にお願い申し上げます。

34期 高 家 正 尚 いつも御案内いただき恐縮です。体調があまり良くなく、欠席させていただきます。よろしく。

35期 福 来 経 夫 御苦勞様です。何かと御世話になっております。小生も後期高齢者となりました。つきましては今後の御案内は辞退させていただきます…よろしく御願ひ申し上げます。

36期 上 松 忠 夫 幹事の皆様いつもご苦勞様です。当方、後期高齢者の仲間入りしましたが、なんとか元気で仕事をしております。欠席いたしますが皆様に宜しく。

38期 古 東 淑 美 いつも大変お世話になりありがとうございます。

東京工芸大学同窓会関西支部 役員氏名

	役職名	期	氏名	備考
	顧問	23	上田史郎	
	顧問	30	福岡武雄	
	顧問	30	松本一馬	
1	支部長	42	駕田毅	総務担当
2	副支部長	40	倉橋正直	会計担当
3	副支部長	工21	原浩一	企画担当
4	副支部長	工4	俣野恒雄	広報担当
5	副支部長	39	山本哲	総務・大阪地区長
6	副支部長	工2	内田英男	大阪地区4年制担当
7	副支部長	47	大西繁	滋賀地区長
8	副支部長	39	安岡賢治	京都地区長
9	副支部長	36	西尾祐一	兵庫地区長
10	副支部長	38	本城丈夫	奈良地区長
11	副支部長	38	村田忍	和歌山地区長
12	監事	38	滝口雅之	
13	監事	工8	谷野彰	
14	副地区長	30	安川洋平	奈良地区
15	広報委員	工16	小林修一	
16	同期委員	30	安川洋平	兼任
17	同期委員	31	森澤嘉昭	印刷部会 会長
18	同期委員	38	滝口雅之	兼任
19	同期委員	39	安岡賢治	兼任
20	同期委員	工2	内田英男	兼任
21	同期委員	工16	小笠原秀樹	
22	同期委員	工25	鈴木正一郎	
23	職場委員	工21	原浩一	兼任
24	職場委員	工4	俣野恒雄	兼任
25	職場委員	工25	鈴木正一郎	兼任
26	職場委員	工12	伊東正邦	
27	職場委員	工27	三橋浩二	
28	婦人部部长	38	村田忍	兼任
29	婦人部委員	43	二見むつみ	

会員の皆さんに同窓会情報をお届けしようと、会報をお送り致します。

ご意見・ご提案がございましたらご一報下さい。

なお、会員の異動や慶弔ごなどは、お手数ですが各地区長又は事務局までご連絡下さい。

支部長兼総務担当 駕田 毅

東京工芸大学同窓会関西支部

[事務局住所変更のお知らせ] (11月4日より)

事務局 〒573-1132 枚方市招提田近2丁目8番地 (枚方企業団地)
 ダイコロ株式会社内 秘書室
 TEL 072-850-0771 FAX 072-850-6396

各地区連絡先

滋賀地区	大西 繁	〒525-0072 草津市笠山5丁目3-66-604	TEL077-563-9208
京都地区	安岡賢治	〒610-0331 京田辺市田辺北里24	TEL0774-62-1376
大阪地区	内田英男 (工学部)	〒594-1111 和泉市光明台2-45-2	TEL0725-56-5726
大阪地区	山本 哲	〒557-0006 大阪市住之江区浜口西2-3-9	TEL06-6678-2426
兵庫地区	西尾祐一	〒665-0877 宝塚市中山五月台4-11-1	TEL0797-89-2248
奈良地区	本城丈夫	〒630-8348 奈良市小太郎町4	TEL0742-22-6225
和歌山地区	村田 忍	〒646-0043 田辺市今福町91	TEL0739-22-4595

当会報作成にあたっては、ダイコロ株式会社に一層のご協力を戴きました。ダイコロ(株)には厚く御礼申し上げます。

東京工芸大学：同窓会関西支部



<http://www.t-kougei-kansai.jp/>